

北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

教育事務所とは・・・。管理課とは・・・。

北薩教育事務所 管理課長 外園 賢治

教育事務所とは・・・。

「鹿児島県教育委員会の行政組織等に関する規則」によると、第36条に県教育委員会の「出先機関」として名称・位置・所管区域が定められています。

北薩教育事務所に関しては、

位置：薩摩川内市 所管区域：阿久根市 出水市 薩摩川内市 薩摩郡 出水郡

教育事務所の事務としては、

同規則の第37条に「教育事務所においては、次に掲げる事務を処理する。」とあり、管理課に関わりの深い部分では、

- (5) 県費負担教職員の任免、服務その他人事に関する事
- (12) 教育に関する調査統計に関する事
- (13) 市町村教育委員会に対する指導、助言及び連絡調整に関する事
- (15) その他所管区域内の教育に関する事 等があります。

ここで注目したいのは、(15) その他所管区域内の教育に関する事です。えっ！ それって全部・・・？

そうなんです。教育事務所は「なんでも屋(便利屋)」なんです。

教育事務所の管理課は、厳しいとか、お世話にならないようにとか、あまりよい印象をもたれないかもしれませんが、「なんでも屋」なのです。

学校を訪問させていただいた際、尾堂所長がよく「教育事務所としてできることがあれば何でもよいので、情報を共有し、よりよくなるように連携を図りましょう。」と言われます。

我々、教育事務所の職員は、教育事務所の事務を的確に処理するため、よく「聞く」「聴く」「訊く」「利く」「見る」「観る」「視る」「診る」必要があると、教育事務所勤務が通算10年目となった私が、今思うところです。

反省してばかりですが・・・。

なかなか上手いかない部分もありますが、所管区域内の教育に関する事で何かありましたら、教育事務所まで！

【学力調査】

令和5年度全国学力・学習状況調査結果

平均正答率 (%)

	小学校6年				中学校3年			
	地区	県	全国	全国差	地区	県	全国	全国差
国語	65	67	67.2	-2.2	68	70	69.8	-1.8
算数・数学	60	61	62.5	-2.5	46	48	51.0	-5.0
英語					39	42	45.6	-6.6

【学習状況調査(児童生徒質問紙)】 ※ 数値は、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合 (%)

質問項目	小学校			中学校		
	地区	全国	全国差	地区	全国	全国差
学校に行くのは楽しいと思いますか。	57.9	49.8	+8.1	47.9	43.3	+4.6
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	47.8	49.9	-2.1	36.0	40.0	-4.0
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	63.5	60.9	+2.6	39.1	43.7	-4.6

本地区の概況は上のおりです。学力調査では、小学校、中学校ともに全教科全国平均を下回っており、昨年度にも増して厳しい状況です。自校の分析結果を基に、全職員がこの結果を自分事と捉え、日々の授業が「主体的・対話的で深い学び(学習者主体の授業)」となっているか、自身の授業を振り返ってみましょう。また、学習状況調査の結果は、子供たちの学校評価と捉え、なぜこのような結果になっているのか、全職員での改善策の熟議をお願いします。今後の授業で全ての子供たちが活躍し、輝く姿を期待します。

子供たちの自尊感情を育むために

令和5年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査より

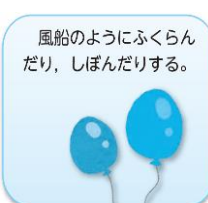
問4 「自分には、よいところがあると思いますか。」※ () は令和4年度

小6	1 そう思う	2 どちらかと言えばそう思う	1と2の合計
地区	34.9% (31.2%)	45.9% (42.5%)	80.8% (73.7%)
県	35.5% (32.4%)	45.7% (43.6%)	81.2% (76.0%)
全国	42.6% (39.4%)	40.9% (39.9%)	83.5% (79.3%)
中3	1 そう思う	2 どちらかと言えばそう思う	1と2の合計
地区	32.6% (27.1%)	46.7% (49.3%)	79.3% (76.4%)
県	30.9% (29.1%)	47.4% (47.3%)	78.3% (76.4%)
全国	37.2% (36.0%)	42.8% (42.5%)	80.0% (78.5%)

令和5年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙では、「自分によいところがある」と思う北薩地区の児童生徒の割合は、小学6年生が80.8%と、鹿児島県教育振興基本計画の数値目標80%を上回り、中学3年生は79.3%と、80%まであとわずかという結果になりました。これは、各学校において、人権尊重の精神に立った学校づくりが進められ、児童生徒の自尊感情を育む教育活動が着実に展開されている成果であると考えています。

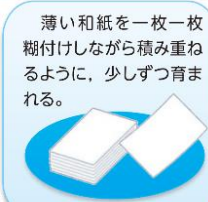
自尊感情とは、自己に対して肯定的な評価を抱いている状態を指す言葉であり、自己肯定感と同じ意味合いで用いられることもあります。「生まれてきてよかった」「自分にはできることがある」など、自分自身をかけがえのない価値ある存在とする感情であり、学習意欲の向上や良い人間関係を築こうとする源になるものです。

社会的自尊感情



風船のようにふくらんだり、しぼんだりする。

基本的自尊感情



薄い和紙を一枚一枚糊付けしながら積み重ねるように、少しずつ育まれる。

令和2年度人権教育指導資料「仲間づくり」より抜粋

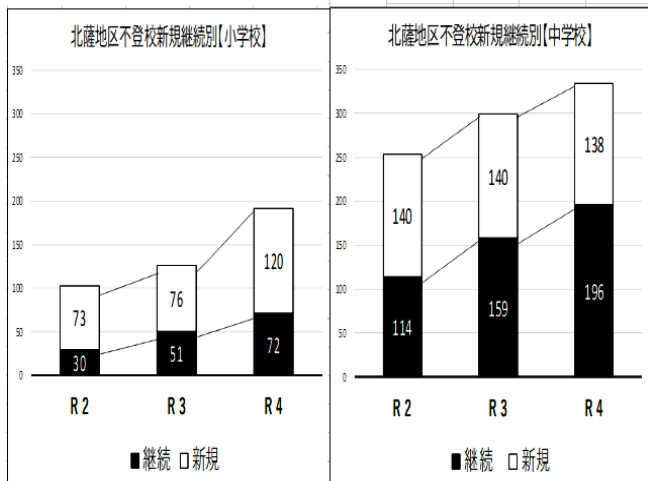
左図のとおり、自尊感情は「社会的自尊感情」と「基本的自尊感情」で成り立っているといわれています。「社会的自尊感情」は、他者からほめられたり認められたりすることで、風船のようにふくらみますが、叱られるとしぼんでしまうなど、その場の状況や状態に左右されやすい不安定な面があります。

一方、基本的自尊感情は、体験と感情の共有を繰り返すことで、ゆっくりと形成されるものであり、一度形成されると簡単には揺るがないほど強くなり、社会的自尊感情を支える役割を果たしています。ただほめるだけの指導では、社会的自尊感情は一時的にふくらみますが、基本的自尊感情は育ちにくいといえます。そのため、社会的自尊感情と基本的自尊感情を相互に育む必要があります。

学校では、毎日の授業や様々な学校行事の中で、「共有体験」の場がたくさんあります。「共有体験」とは、信頼できる仲間と一緒に考え、悩み、解決できたことを共に喜ぶ体験のことです。共有体験の中で挑戦を重ね、体験したことを振り返って自

己評価したり、教師から励ましや称賛をもらったりすることで、自尊感情は薄い和紙を一枚一枚重ねるようにゆっくりと育まれていきます。日頃の授業や学校行事の中で、活動について子供自身が振り返る場面は設けられているか、また、子供の頑張りを具体的に認め励ます声掛けはあるか、振り返ってみましょう。

令和4年度の調査結果から分かる積極的な生徒指導の効果



10月上旬に「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果が公表されました。本地区のいじめの認知件数及び不登校児童生徒数については、全国・県全体と同様に増加しております。しかしながら、左のグラフのように新規不登校数は、小学校は増加していますが、中学校は、前年度より減少しています。これは、地区全体で中学校を中心として魅力ある学校づくりに取り組んでいる成果だと考えています。

現在、生徒指導提要进行を基に生徒指導と一体化した学習指導を推進しています。2月には、地区研究協力校(生徒指導・教育相談)としての取組を推進している東出水小学校の公開研究会もあります。各学校においても、生徒指導提要到示された4視点を基に、発達支持的生徒指導の取組を充実させていただきたいと思っております。

合同計画訪問



本年度は、23校の小・中・義務教育学校を訪問しました。どの学校も色鮮やかな花々と元気いっぱいの児童生徒が出迎えてくれました。また、写真のように、整然と並んだ靴箱、賞状や優勝旗、絵画や習字などの作品、委員会や生徒会活動のポスター、授業のルールや流れが記された掲示物、養護教諭や学校司書の手作りのポップや資料など、様々な設営等に、学校の教育的な配慮が見られました。



もちろん、「子供が主役となる学び」のための先生方の授業の工夫やICTの活用、「めあてとまとめの整合性」を意識した板書など、充実した授業の中でみられる児童生徒のいきいきした学びの姿はとても印象に残っています。

先生方、本当にありがとうございました。

盛大に開催！運動会・体育大会

今年度の運動会・体育大会は、多くの学校で入場制限がなくなり、盛大に開催されました。北薩教育事務所では、5市町26校の小・中学校の訪問をしました。

どの学校でも、教児一体となり一生懸命頑張る姿やそれを温かく見守る保護者・地域の方の姿が見られました。また、熱中症が心配される中、ミストシャワーの設置や塩分タブレットの配布、プログラムの見直しなど、各学校の工夫を凝らした取組に深く感銘を受けました。



【鶴川内小学校】



【樋脇小学校】



【宮之城中学校】



【米ノ津東小学校】



【鷹巣小学校】

速度を守る安全運転は、自他の人生も守る！

管内では、6～8月の3か月間に、教職員の速度超過違反による検挙が8件も発生しています。運転に対する甘い考えは、いつか取り返しのつかない交通事故を引き起こし、その被害者やその家族の人生を狂わせるだけでなく、自分や家族の人生をも狂わす結果を招いてしまいます。自らの運転を再度見直すとともに、通勤経路等の制限速度を示す標識や道路標示を再確認してみませんか。

北薩地区フレッシュ研修【研究授業研修：道徳科】

令和5年10月6日(金)開催

阿久根市立折多小学校

研究授業（第2学年 授業者：田辺 拓玖 教諭）
主題名：あたたかい心 B(6)親切、思いやり
「くりのみ」（日文）



【小学校 板書】

長島町立川床中学校

研究授業（第1学年 授業者：岩野 敦 教諭）
主題名：挑戦し続けること A(4)希望と勇氣、克己と強い意志
「風を感じて-村上清加のチャレンジ」（東書）

授業研究では、「考え、議論する道徳の授業づくり」について、事前研究で話し合ったグループごとの視点を中心に協議を行いました。「中心発問や心を揺さぶる発問の重要性を感じた。」「教材研究をして指導者の意図を明確にしたい。」「課題を共有できてよかった。」などの感想や意見が聞かれました。



【中学校 授業研究】

地区ICT活用研修会(オンライン)

9月6日(水)、地区ICT活用研修会を、北薩教育事務所からオンライン配信で実施しました。

県教育庁高校教育課の中村指導主事による県の施策や現状説明があり、鶴荘学園、佐志小学校、鷹巣小学校、米ノ津中学校から、ICT活用についての事例発表がありました。

その後、グループ別に、各学校の取組や課題を共有し、改善策等の意見交換では、協議が活発に行われました。実施後のアンケートには、「他校の取組を聞くことができてよかった」「移動時間が不要で、オンラインは大変ありがたい」、「1人1台端末の持ち帰りを推進したい」などの意見や感想があり、今後につながる充実した研修会になりました。



【オンライン配信の様子】

「かごしまの教育」県民週間

本県では、家庭・学校・地域社会のより一層の連携と協力の下に、県民一人一人が鹿児島県の教育について考える気運を高め、本県教育の充実と発展を図るために、11月1日から7日までを地域が育む「かごしまの教育」県民週間としています。

また、この県民週間を幅広く普及させ、全県的な活動として推進するためにポスター原画・標語を募集しています。今年度は、ポスター原画の部に54校、標語の部に80校から応募をいただきました。優秀賞以上を受賞した作品と学校を紹介します。

【ポスターの部 優秀賞】

出水市立出水小学校

6年 肱元 心美さん

「はじめてのあゆとり」

※ 右の作品です。

【学校賞】

薩摩川内市立黒木小学校

薩摩川内市立亀山小学校

【標語の部 優秀賞】

阿久根市立山下小学校

2年 才田 千寧さん

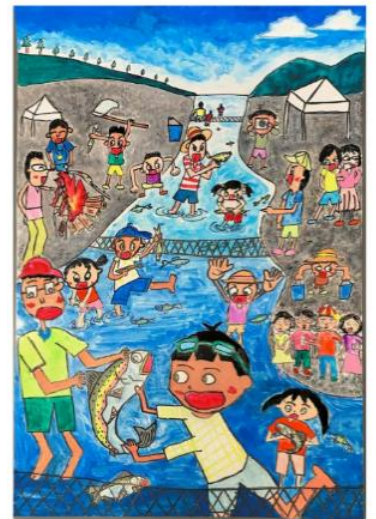
「よってらっしゃい 見てらっしゃい

ぼくらの学校 ちいきのみんなの学校」

薩摩川内市立樋脇中学校

2年 濱田 李衣菜さん

「世代超え みんなで創ろう 学びの場」



北薩地区文化財保護審議会委員・文化財行政担当者等合同研修会

9月29日(金)に長島町文化ホールと歴史資料館、古墳群で、上記研修会が開催され50人の参加がありました。県文化財課から講師をお招きし、文化財の保護と活用について研修しました。多くの人に知ってもらい、文化的意義に触れることが保護につながることを再確認する機会になりました。

